



Weapon of Legacy (未訳)

By Keith Baker

今回のエベロン・エクスパンデッドは、エベロンでのキャンペーンにWeapon of Legacy (未訳) の内容を適合させることに焦点を置いています。 Weapon of Legacy (未訳) では、遺産武器 (Legacy Weapon) を導入します…アーティファクトに匹敵するパワーを潜在的に持つ魔法のアイテムですが、全ての潜在力を利用者がすぐに使える訳ではありません。その代わり、アイテムのパワーは、その所有者によって増大していきます。更に、アイテムの歴史を暴き、その遺産を重んじ、儀式と技法を行った者だけが偉大なる力を暴き扱うことができます。

一般に、アルゴネッセンのドラゴンやゼンドリックの巨人、デーモンの時代の墮ちた君主のようなエベロンでの偉大な存在だけが、アーティファクトを作り出すことができます。しかし、遺産アイテム (Legacy item) は、それが作り出された歴史によって、様々な存在から生み出すことができます。例えば、“強奪者”マレオンは、ゴブリンの血でコーヴェアの岸辺を洗い、彼の斧であるレッドウェーブは、未だにその中に彼の憎悪の影を隠し持っています。ほぼ1世紀の間失われたガリファアの王冠は、偉大なる力を持つアイテムですが、これを着用するに値する価値を示した者だけが、その本当の潜在力を利用することができます。

歴史上の英雄の手から離れたランダムなアイテムに加え、ダカーンの帝国とターナダルのエルフという、ふたつの特記すべき存在が遺産アイテム (Legacy item) に相応しいものとなっています。

ダカーンの帝国

ゾリアットからの侵略が、ゴブリン種らが築き上げた高度な文明社会を粉砕する7,000年前からダカーンのゴブリン種はコーヴェアを支配していました。このゴブリンの国家は戦争の技 - その訓練と道具の両方について - について身を捧げ、鎧職人と武器鍛冶師は、今までで最高の物を作り上げていきました。ダカーン人は神を崇拝せず、彼らは偉大なる英雄の歴史とその行為を言い伝え、帝国そのものを崇拝していました。

これらのことが、ダカーン人にとっての遺産アイテム (Legacy item) に関する根深い伝統を彼らに理解させています。コーヴェアの征服、エルフとデーモンとの戦争、デルキールとの悲惨な対立といった、帝国の歴史の変遷があり、これらの武器はゴブリンの手で鍛えられ、それらは気高い戦士に等しく仕えました。今日、ダカーンの後継者、すなわちゴブリン種の帝国が崩壊し始めたとき、影に隠れた一族は、これら古代の遺物を探しており、それが彼らの過去の栄光を復興させるのを大いに手助けしてくれると信じています。

相当な数の遺産アイテム (Legacy item) が古代の戦場に埋まったままであるものの、多くのダカーンの遺物は恐らくは帝国の廃墟の中に横たわっています。ダカーン人は戦争に献身する厳格な文化を持っており、これらの遺産アイテム (Legacy item) の多くは武器や鎧ですが、duur 'kala のバードの楽器や偉大な将軍、皇帝が身につけた礼装品といったものもありえます。

これらのアイテムの為の遺産に対する儀式は戦争に結びついたことであるべきで、小さな勇気を示すことから、戦闘の芸術家として重要な役割を果たすことに及ぶかもしれません。儀式を作成する時には、ダカーン人が単純な戦争屋ではなかったことを念頭に置いてください。彼らの文化の基礎を成すもののひとつは、強い者 (バグベアやホブゴブリン) が弱い者 (ゴブリン) を守るというものであり、武器や盾はこの哲学に準じた犠牲を求めるものなのかもしれません。

それぞれのダカーン人の遺産アイテム (Legacy item) は、ゴブリンが取り戻したいと願うゴブリンの歴史であり、そのひとつひとつを持つことは、ゴブリン種ではないキャラクターにとって危険を伴います。一般的な都市生活者のゴブリンやGhaal 'duur の軍人はアイテムを認めないかもしれませんが、ダカーンの後継者は、帝国の素晴らしい宝物のひとつが盗み出され、それをあえて己の者として使う部外者に怒りを覚えるでしょう。ダカーンの後継者と行動を共にするキャラクターは、最終的には名誉ゴブリン、すなわち遺産アイテムを持つに足る人物として十分な敬意を払われるかもしれませんが、致命的な流血は最初に起こりうるでしょう。

ダカーン人の遺産武器

僅かに変更するだけで、Weapon of Legacy (未訳) の以下の特定のアイテムは、ダカーン人のものに適用することができます。最初に各アイテムのエベロンでの歴史の説明があり、続いて変更内容が●以降に示されています。もし、書かれていないなら、アイテムのパワーはそのまま残っているとして扱います。

フィードキラーズ・フレイル (Fiend Killer's Frail)

この武器はもともとロード・オブ・ダストと戦う為に鍛えられました。後に、ゾリアットの軍団が進行してきた時、鍛冶屋はそのパワーを強化しました。

- 武器のフィードの受難能力にバイシュクを加える。
- 原住の副種別、ゾリアットからのextraplanarなクリーチャー、異形といった悪の来訪者を見つけだせるよう、フィード感知を変更する。



グーラガル (Guurgal)

エベロンのオークは、ゴブリン種とは違い、好戦的な伝統を持っておらず、グーラガルはオーク達の武器ではありませんでした。これは勇気と決断の証として自らの目を差し出した最初のゴブリンの皇帝だけがこれを振るったのです。

- 全てのオークとハーフ・オークの説明をゴブリン種に変更する。
- 下級遺産の儀式は、グーラガルというよりも古代の皇帝の精神に近づくことを求められる。
- 上級遺産の儀式は、キーパーのねぐらに捕えられている皇帝Bruug Dhakaanの影を見つけ出すこととなる。

スカル・ラッシュ (Skull Lash)

スカル・ラッシュは、帝国が建国される以前のもので、その不快な外観とは裏腹に、しばしば皇帝や洞察を与える能力を使う為に duur'kala の賢人によって用いられました。



ウォーガイズ・アーマー (Wargird's Armor)

ダカーンの士官の為に作られたこの鎧は、西部の緩衝地帯を作る為に帝国が行った行動のひとつの中で殺害された、シャドウ・マーシュから来たオークのバーサーカーの精神と結びついています。

その他の選択

上記のアイテムは、ダカーンの帝国と関連付けしたこの本に取り上げられた武器の幾つかの例ですが、これ以外の多くのアイテムも同じように変更することができます。特に、チェーンを使った武器はダカーン人にとって一般的であり、スパイクド・チェーンは遺産のよき武器になるでしょう。また、この本の既存の武器をスパイクド・チェーンに変更することもできます。

ターナダル

ターナダルのエルフの戦士に関する文化は、ヴァラナーを建国させました。全てのターナダルは、特定の先祖（アンセクター）の記憶に身を捧げ、自身の人生を通じてその人物の偉大な行為を重んじ、模倣しようと努めます。

このような文化は、Weapon of Legacy (未訳) のアイテムに完璧に適合できます。古代のエルフの英雄の重要な所有物を扱う全てのエルフは、その歴史とパワーにその身を捧げるでしょう。

ターナダルは、熟練した射手であり、騎手であり、隠れ身とゲリラ戦の達人であり、これらの能力に結びつく武器やアイテムが特にターナダルの遺産に適切に結びつきます。ターナダルが戦争の文化を持っているとはいえ、彼らは戦闘で使われる秘術魔法にも敬意を払っており、更に装飾用の衣服や宝石も好みます。その為、どのようなアイテムでもターナダルの遺産アイテム (Legacy item) として利用することができます。

望むのなら、君はエルフのチャンピオンの遺産をエルフのアイテムとして、(エルフだけに) 限定することもできます。持ち運んでいる者がアイテムを最初に使った英雄的なエルフの記憶を呼びもどしてしまう為、他の種族に対しては、これらのアイテムは答えないのかもしれませんが、しかし、いずれ人間や他のクリーチャーがいつか古代の意志の敬意を受け、遺産を持つ権利を得るとができるかもしれません。

ターナダルの遺産アイテム

どんな遺産武器でもターナダルのものに変更することができますが、Weapon of Legacy (未訳) の武器の幾つかが、僅かな調整だけで、エルフの歴史に適合します。これらのアイテムはパワーに対する変更は必要ありません。ただ、歴史を修正するだけです。

ボウ・オブ・ザ・ブラック・アーチャー (Bow of the Black Archer)

多くのドラウが彼らのいとこ (エルフを指す) との戦いに使った闇のパワーを使って、古代のゼンドリックの巨人に仕えました。エベロンに於いて、Shevarash は神になりませんでした。彼は何百というドラウを殺した伝説の弓の射手でした。実際、多くの者がValderionを打ちのめしたのは彼の激怒であったと伝えています。

デザート・ウィンド (Desert Wind)

このアイテムは、ゼンドリックの乾燥した地域にいた偉大なエルフの王子、すなわち巨人に対抗すべく立ち上がった最初の州のひとつの支配者が持っていたものです。ターナダルが初めてブレード砂漠にやってきた10,000年前にデザート・ウィンドは失われ、ヴァラナーは徹底してその土地を探しているものの、未だ見つかっていません。



ストーカーズ・ボウ (Stalker's Bow)

エルフの女性狩人、ファイリンは、ドラウの暗殺者からエルフの反乱者を殺す為に使ったこの武器を手に入れました。しかし、Aerenal に着いた後、この弓は素早く消え去りました。噂では、ストーカーズ・ボウはチュラーニ氏族の手に渡っていると言われていますが、それがどこにあるとしてもファイリンのターナダルの子孫はそれを取り戻したいと望んでいます。

その他の選択

上記の選択以外にも、ターナダルの文化特有の幾つかの物品が素晴らしい遺産アイテム (Legacy item) になるでしょう。君はこれらの形態を使うか、またはまったく新しいものを作り出す為に本の中からアイテムを変更することができます。

ヴァラナー・ダブル・シミター：(エベロン・ワールドガイド p xxxに説明されている) この武器の歴史は、ゼンドリックにまで遡るもので、ターナダルの戦士はこの武器の技量に大いにプライドを持っています。

ジールシン：ジールシン、あるいはスピリット・バンドは、ターナダルのエルフのパトロンであるアンセクターの印を持つアミュレットです。ジールシン・ツは、アンセクターの物質的なレリック、すなわち骨や歯の欠片からなるブローチのようなものです。ジールシン・ツは偉大な遺産アイテム (Legacy item) を作り出しますが、特定のパトロンであるアンセクターを持つエルフだけがその力を解き明かすことができるようにすべきです。

ジールタ：ジールタまたはスピリット・マスクは、顔の下部を覆うベールです。これは着用者が彼のアンセクターが使っていたものを使い、自らの身元を隠すのに役立つよう意図されています。アンセクターの為に役立ったジールタは、強力な遺産になりやすい素材です。

遺産特技とレガシー・チャンピオン

最も長い歴史を持つ文化のメンバーとして、ダカーンのゴブリンとターナダルのエルフは、レガシー・チャンピオンに論理的に適合するものであり、全てではないものの、遺産特技を持つ者を育成してきました。しかし、他の文化のメンバーも、彼らの文明社会との交流を通して、同じ技能を学ぶことができました。例えば、ダカーンとの間で活動するWayfinder Foundationのメンバーは、遺産の守護者の伝統を学び、彼ら自身の武器であるブラッドウェーブにそれを使ったかもしれません。

遺産を見つける

エベロンワールドガイドに於いて、プレイヤー・キャラクターはその時代の最も偉大な英雄であるはずですが… あるいは、彼らはそうなる可能性を秘めています。その為、新しい遺産を作り出すことは彼らの行為から考えれば違和感はなく、それが次世代へと引き渡されるかもしれません。遺産の創造は、特にエベロンの最も凶悪な悪と対峙している英雄に適切なものです。デルキールの君主を貴族を打ちのめす刃、エランディス・ヴォルに立ち向かう盾、ロード・オブ・ブレードの帯びる剣を粉碎するハンマー… これらがアイテムの伝説を生み出します。

遺産としてのウォーフォージド

エベロンは他の設定に興味深いある選択を見出すことを可能にしています。それはウォーフォージドです。ウォーフォージドの肉体は、一揃いの魔法の鎧のように強化することができます。遺産アイテム (Legacy item) となっているウォーフォージドのキャラクターは、彼が知らない何らかの秘密の目的で作られたものなのかもしれません。オ

ナターと上のドラゴンによって力が満たされ、彼の本当の運命が明らかになるまで、彼は待ち続けなければなりません。

ウォーフォージドを遺産アイテム (Legacy item) にすることを許可することは、自らのキャンペーンでそれを見つける前にDMが慎重に考えなければいけない選択となります。結局のところ、遺産は簡単には取り外すことも破壊されることもなく、ロード・オブ・ブレードとの遭遇を一層、興味深いものにしてくれるでしょう。

遺産のモンスター

遺産のモンスターの考え方は、大いにエベロンに適切です。Kazdurakashtanはドラゴンです… 悲劇が襲ってきた時、サイアリに隠されていたチェンバーのオブザーバーは、捻じられ、遥かに恐ろしいモンスターに変貌しました。目の君主、Belashyrraはデルキールの中でも最も恐ろしい存在のひとりです。冬の子は、ダイア・サーペントが黄昏の原初のパワーを注ぎ込みこんだのだと、コールドファンクの伝説を語ります。ソーラ・ケルのナイト・ハグのおとぎ話は、コーヴェアに最初に人間が辿り着いたときから、子供達を怖がらせる為に使われてきました。これらのクリーチャーは遺産の最も明白なモンスターですが、他の多くの有名なクリーチャーが同じように、ただ新しい英雄が出現するのを待っており、エベロンの影の中に潜んでいるのかもしれませんが。

その他のWeapon of Legacy

上記のターナダルとダカーンの章は、Weapon of Legacy (未訳) から幾つかの武器についてのみ説明していますが、この本に書かれた全ての物品でも、エベロン・キャンペーンに適したものへと変換するのは簡単です。例えば、インフィルトレーターはフィアラン氏族とチュラーニ氏族の間の分裂を纏め上げることができるかもしれませんが、ゼンドリックから続くエルフの裏切りさえ纏め上げることができるかもしれません。マウ - ジェヘは、最初のカラシューターによって製造することができたはずですし、シンプル・ボウはアダーの修道院にその起源を持っているかもしれません。フルムーン・トリック、すなわちライカンスローブ粛清の墮ちた無邪気な残滓のひとつは、エルデン・リーチのシフターによって隠されているのかもしれませんが。ダイヤモンドハートは、門を護る者の間で伝えられることができたはずですし、ツリーブラザーは、偉大なるドルイド、オアリアン自身から切り取られた幹なのかもしれません。あなたの想像力を使ってください!

著者について

キース・ベイカーは小学校のときからDungeons & Dragonsの熱心なファンでした。彼の生活は2002年に彼が Wizards of the Coast Fantasy Setting Searchにエベロンの世界を提出したときに劇的に変化しました。Wizards of the Coast, Incの為にエベロン・ワールドガイドと最終戦争の影の作成したことに加え、彼はAtlas Games、Goodman Games、Green Roninの為に資料を作り上げました。